

# 病害虫防除技術情報第6号

令和3年6月17日

三重県病害虫防除所

**トビイロウンカ、セジロウンカの初飛来を確認しました。  
水稻では今後の被害を防ぐために対策を行ってください。**

1. 対象作物            水稻(早期、普通期)
  
2. 対象病害虫名      ウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ)
  
3. 発生状況
  - (1) 松阪市嬉野川北町の予察灯(100w水銀灯)では、6月11日にトビイロウンカ(1頭)、同12日にセジロウンカ(2頭)の初誘殺を確認しました。セジロウンカの初誘殺は平年7月3日であることから本年のウンカ類の飛来時期は早い状況です。
  - (2) 日本植物防疫協会提供のウンカの飛来解析によると、三重県には5月17日、18日、21日、27日、29日および6月4日に飛来した可能性があります(6月15日現在)。
  - (3) 近県では和歌山県、大阪府、奈良県、静岡県でトビイロウンカの誘殺が確認されており、三重県でも広い範囲で飛来したと推察されます。
  
4. 防除対策
  - (1) 有効積算温度による発生予測によると、本年は飛来時期が早いため第3世代の発生に伴う被害が8月中旬から予想されます。そのため普通期水稻だけでなく早期水稻でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除対策を行いましょ。
  - (2) 以下のとおり作期ごとに防除を行いましょ。
    - ①早期水稻
      - ◎6月中の農薬散布は第1世代幼虫の防除に効果があります。
      - ◎7月後半の農薬散布は第2世代幼虫の防除に効果があります。穂ぞろい期にカメムシ類防除を兼ねた散布を行いましょ。
    - ②普通期水稻
      - ◎移植時に箱施用剤などでウンカ類防除を行っていない場合や、箱施用剤の農薬成分がウンカ類に対して効果の低いものである場合は、6月または7月後半に農薬散布を行いましょ。
      - ◎出穂期(8月)以降にはカメムシ類防除を兼ねた散布を行いましょ。

(3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。

(4) 感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビイロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブフロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル



図 2020年に発生したトビイロウンカによる坪枯れ被害の状況（左）とトビイロウンカ成虫（右上：長翅型、右下：短翅型）

農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。